

パイラックの変遷

- ◎ ネグロス製品が、お得意様のご意見と、技術向上により、より良いものを目指して変化していることを、パイラックを例に説明します。
- ① 穴明け不要、省力化の目的で開発された初期のもの。現在他社から類似の型のものが出ています。
- ② アングルに当たる部分に弾力性を持たせるとよいというご意見で、ゴムブッシュをつけたもの。ゴムの劣化に不安があって製造中止しました。
- ③ 小型、経済型の I S 型を開発しました。
- ④ アングルに当たる部分を波状にして、安定支持を計ったもの。(意匠登録)
- ⑤ スプリング支持パイラック。当時技術が伴わず、不安感があって、あまり使用されませんでした。技術の進んだ現在、ネグロック製品の中に、同じ目的のものが生まれ替っています。
- ⑥ くぼみ先ネジの使用。振動とすべりに対し、一段と強くなりました。
- ⑦ ネジにナットをはめたまま作業出来る溝式クリップ。ドライバーで締過ぎると、外れてしまうことがあり、もとの穴式クリップになりました。

(営業K. S)

